

解説メモ 11月6日付質問主意書に対する回答(11月17日付)

この質問主意書への鳩山内閣回答のポイントは、「天下り」と「わたり」に関して、「府省庁のあっせんさえなければ、官僚OBが指定席のように同じポストに再就職しても問題ない」としている点です。

逆に言えば、府省庁が「あっせんはなかった」と言いければ、「天下り」も「わたり」も成立しません。「あっせん」があったかどうかの判断は府省庁に委ねられることになり、言い逃れるのは簡単です。

この質問主意書への回答の中で以下のような「指定席ポスト」の存在が確認されました。常識的に考えれば、「天下り」以外の何ものでもありませんし、鳩山内閣の閣僚も以下のように答弁しています。

前原国土交通大臣(11月4日衆議院予算委員会)

「天下りというのは、早期勧奨退職をし、そして、今まで決まったポストにどンドンかわっていく、そしてまた、それが固定化していく、そういうものを我々は、天下り、わたり、根絶をすと言っていたわけであります。」

仙谷国務大臣(11月4日衆議院予算委員会)

「つまり、だらだら指定席のところに当てはめていくという、ある役所の指定席のところに当てはめていくという場合は、これはもう、まごうことなき天下りであり、あっせんであるというふうに思います。」

鳩山内閣の閣議了解を経て出された回答の中で、日本郵政社長の齋藤次郎氏や副社長の坂篤郎氏、同じく副社長の足立盛二郎氏の「まごうことなき天下りであり、あっせん」が確認されたわけです。鳩山内閣公認の「天下り」官僚OBが、日本郵政の社長と副社長2人に就任したことは、「天下り解禁」の公式表明みたいなものです。

民主党が選挙のときに唱えていた「脱官僚」や「天下り根絶」の公約は、どこへ行ってしまったのでしょうか？

質問主意書への回答を見やすいように一覧にしたのが次のリストです。

(株)東京金融取引所社長(東京金融先物取引所理事長、東京金融先物取引所社長)

社長(理事長)名	任期	最終官職
吉田太郎一	H1.4.25~H7.5.19	大蔵省財務官
吉本宏	H7.5.19~H12.5.16	大蔵省理財局長
齋藤次郎	H12.5.16~H21.10.27	大蔵事務次官
太田省三	H21.10.28~現在	大蔵省印刷局長

農林漁業金融公庫副総裁

総裁名	任期	最終官職	備考
宮本保孝	S60.7.16~H3.8.31	大蔵省理財局長	
安原正	H3.9.1~H6.6.8	環境事務次官	大蔵省出身
千野忠男	H6.6.8~H8.8.31	大蔵省財務官	
藤原和人	H8.9.1~H12.5.15	国土事務次官	大蔵省出身
福田誠	H12.7.15~H14.6.11	大蔵省金融企画局長	
尾原榮夫	H14.7.23~H17.8.28	国税庁長官	
坂篤郎	H17.8.29~H17.11.13	内閣官房副長官補	大蔵省出身
浜中秀一郎	H17.12.26~H20.9.30	在ポルトガル大使	大蔵省出身

(財)簡易保険加入者協会理事長

理事長名	任期	最終官職
稲増久義	S58.9.10~H2.9.14	郵政省貯金局長
仲松次郎	H2.9.15~H6.9.14	郵政省大臣官房資材部長
松澤經人	H6.9.15~H14.1.31	郵政省大臣官房資材部長
足立盛二郎	H14.2.1~H16.6.16	郵政事業庁長官
高橋豊久	H16.6.17~H19.6.19	郵政省大臣官房首席監察官
池田仁	H19.7.1~H21.6.30	郵政省大臣官房首席監察官
二村英男	H21.7.1~現在	日本郵政公社監事

(社)日本損害保険協会副会長

副会長名	任期	最終官職	備考
石坂匡身	H16.7.15~H19.9.20	環境事務次官	大蔵省出身
福田進	H19.9.20~H20.9.24	国税庁長官	
坂篤郎	H20.10.16~H21.10.28	内閣官房副長官補	
牧野治郎	H21.11.6~現在	国税庁長官	

(株)NTTドコモ副社長(NTT 移動通信網(株)副社長)

副社長名	任期	最終官職
小野沢知之	H4.6~H10.6	郵政省放送行政局長
村瀬龍児	H10.6~H14.6	郵政省郵政大学校長
加藤豊太郎	H14.6~H16.6	郵政省郵務局長
足立盛二郎	H16.6~H19.6	郵政事業庁長官
松井浩	H20.6~現在	総務省総務審議官